

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス LEIF仁川		公表日		R8年 2月 16日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・十分に身体を動かせる場所が確保されている ・訓練室の視覚指示や導線確保を工夫していきたいと思っている	・視覚支援等の導入による、より効果的で質の高い支援の実現していく	
2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		4	1	・メイン・補助・個別等、個々の役割を明確にしている ・児童の特性や、特に個別支援の必要性のある児童がいる際の指導員の人数配置は多くいて困ることはない	・子ども10人に対して5人の指導員がいるとより厚く支援を行うことができる為、人員配置を検討していく		
3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	2	・事業所に入るまでに階段あり、バリアフリー化の面では環境は整っていないが、現時点では問題ない ・トイレの狭さなど難しい点ではあるが、配慮が必要な人がいる際には特にトイレの広さがよかった方がいいなど感じる	・バリアフリーに対しての準備がまだまだ不足している為、今後肢体不自由などの利用者様を考慮し、活動しやすい環境を整えていく		
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	・清掃、整理整頓がされている ・地下で換気がしにくい環境なため工夫の必要性を感じる	・お子様の成長に合わせて、過ごしやすい環境を今後も整えていく		
5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		2	3	・個別の空間はつくってはいるが、クールダウンの部屋があるとなおよい ・現在事務所に対応しているが、カームゾーンの必要性をひしひしと感じる	・個別対応時に個別専用の部屋や空間がないため、カームダウンスペースの改善を今後検討していく		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎朝、前日の振り返りを全員で行っている	・相互理解に基づく協力体制を構築していく。具体的には、全職員が互いの業務内容を深く理解し、主体的に連携・支援し合える職場環境を整える		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・開所後2回目の自己評価アンケートを実施。今回のアンケートを今後につなげていく	・今回の自己評価から改善点を洗い出し、改善に取り組む		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・個別で話す時間を設けている	・具体的な解決策を考案し、課題解決を引き続き行う		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・他事業所との連携はあるが、外部公表まで行っていない	・完全な第三者機関からの外部評価も踏まえて施設としての運営、支援を強化できるように構築していく		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・毎月、研修を実施している	・専門的な知識を得られるように、こども未来発達センターや他事業所からの研修が受けられるように調整する		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・HPIにて公表されている	・HPIに記載。理念を軸に今後もブラッシュアップしていく		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・個別支援計画書作成までを決められた流れで実施している	・子ども自身のニーズを聞く機会をつくり、本人の意思から成長に繋がる機会を増やしていく		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・一人ずつの子に対してサービス担当者会議を必ず行っている	・職員全員が知識をつけ、適切な意見が言い合えるようにしていく		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・サービス担当者会議後、完成した個別支援計画書を全員で「これでいきましょう」と確認を行っている	・療育の中での情報を活かしながら今後もブラッシュアップしていく		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・主にインフォーマルなアセスメントを使用	・事業所内で統一した基準を作成して集団行動に特化したアセスメントも検討していく		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・各項目の狙いを踏まえて支援を設定している	・個に特化した内容になっている為、幅広い支援内容を踏まえながらお子様に合った支援計画にブラッシュアップしていく		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・担当を決め、全員が順番に立案できるようにしている ・週によって活動プログラムを作成している	・活動プログラムの立案は、チームで実施することを基本とし、立案後はデモンストレーションを通じて効果を検証していく。これにより、プログラムの継続的な改善と質の向上を図る		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・活動内容をスプレッドシートに記載している ・いろいろな情報収集を行い、多くの活動を取り入れている	・個別、集団支援の中での通所頂く、お子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・個別対応が必要であればその場に応じて個別対応を行っている	・個別、集団支援の中での通所頂く、お子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日ミーティング（活動内容・ポジション・チーム分け等）を行っている	・支援の質を高めるため、毎日のミーティングを徹底し、内容と役割分担の確認に加えて、療育内容に応じた気温対策（暑さ・寒さ）を計画に盛り込み、安全で快適な支援体制の構築をしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・各々日報で振り返りを共有し、次日に全員で振り返りを行う	・個別、集団支援の中での通所頂く、お子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・全体的日報や子ども一人ひとりの記録も残している	・個別、集団支援の中での通所頂く、お子様の成長度合いと情報を活かしながらブラッシュアップしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・面談内容を踏まえて児童発達支援管理責任者を中心に活動している	・半年での計画がベースにはなるが、日々の療育での成長を踏まえて、より良いタイミングで見直しを行い、形にできるよう改善していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・地域交流の機会がお出かけのみになるので平日の放課後の取り組みに組み込んでいける施策を検討したい	・地域交流ができていないため、検討していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・選択肢を複数もった上で支援・プログラムを提供出来ている。質を向上させたい	・ティーチングだけでなく場面、お子様の成長に応じたコーチングを組み込む事で自己決定の力を促進できるよう向上していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者を中心に職員の参画も今期は行えた。継続していく	・基本的には児童発達支援管理責任者が参加している為、配置人員に余裕がでてきた際には、児童指導員の参加も検討していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・連携体制はある。より活動内で連携していける施策を検討していきたい	・情報交換が少ないため、増やしていく必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・ベーシックな部分は行えている。より支援に繋げていく	・より効果的に情報を支援に生かす方法を模索していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5	・こちらから情報をより取りに行く為に連絡を定期的に行っていく必要がある	・4月から新一年生が入所した際には、前事業所から情報共有を行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	・まだ対象者がいない ・今のところ障害福祉サービス事業所等に移行した子がいない	・該当者がいないため、今後該当者が出た際は、進学・就労支援の関係各所と連携をとっていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・西児連に参画し、機会を設けている	・各機関での研修情報を把握して、受講できるように調整していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・子ども食堂で他のこどもたちと交流する機会があった ・夏休みの虫取りやクリスマス会の参加など色々な活動の情報収集を行っている ・LEIF西宮との交流はある	・今後、交流の機会をより増やしていけるよう意見交換をし、検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加している	・今後、交流の場がもてるよう意見交換をし、検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・利用した日の送迎時に直接話す、もしくはメールにて情報共有を行っている	・送迎時に保護者様と時間があまりとれない場合は各ツールを有効活用し、情報共有を行っていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・2025年3月に西宮で初の保護者会を開催。西宮から情報を共有してもらい、仁川でも活かしていく	・子どもたちの支援に加えて保護者様とより良質なコミュニケーションがとれる場を増やしていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	・面談、契約時が主になるが、定期的な発信から理解を深めていただける環境を構築していく	・より安心してお子様をお預かりできる環境を目指して活動していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	・お子様自身の参加がスケジュール(学校)で行えていない点は創意工夫が必要	・お子様の意向や想い、意思を対話から吸い上げて取り組むことで質を向上していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・引き続き継続していく	・細やかな部分もれなくお伝えできる環境を構築していく

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・回数やこちらからのアプローチの機会を増やしていきたい	・普段の療育も含め、保護者様との意見交換がdける時間を大切にしている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	・祝日イベントでご家族やきょうだい参加の交流は行っていない	・ご利用しているお子様への療育だけでなく、ご家族も含め幅広い支援が行える環境を検討し、提案・実施に繋がっていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・私が情報共有不足があった。改善に繋がったと思っている	・スピード感を大切に対応しているが、より指導員間の共有スピードと質をあげ、課題の早期解決を行っていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・SNSを活用している	・LEIFでの活動をより安心して楽しんで頂けるように時代に合った発信を心がけていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・全社として取り組んでいる。細部までこだわり質を向上させていく	・個人情報の取扱いについて第三者機関からのチェックと合わせ強化していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・視覚からの情報伝達を増やしながらより配慮の上で意思疎通を行える環境にしている	・保護者様への案内が重複する場合がある為、工夫を行い、明確な案内方法へ改善していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・ご家族までの招待なので、地域との連携も視野に入れて施策を実践していく	・今後、交流の機会ももてるよう意見交換をしながら検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・訓練の質にこだわり来期は現場での実施内容を向上させていく	・マニュアルを保護者様によりご理解頂けるように周知方法を向上する意見交換を行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・年に一度、避難訓練（実際に避難所まで避難、水消火器訓練）を行っている	・業務継続計画を作成するだけでなく、地域への確認をより深めながら質を向上させていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	・通所するお客様のアレルギー確認をミーティングで行っている	・常にお子様の成長から健康状態の変化を保護者様と共有できるように日々の発信で吸い上げて更新していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・リスト化しクラウドで共有、毎日確認、徹底を行っている	・常にお子様の成長から健康状態の変化を保護者様と共有できるように日々の発信で吸い上げて更新していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・より実践を想定した訓練を来期は強化していく	・新規職員を含め、スピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	・発信できているが、強化出来ない印象。周知方法を見直し向上させていきたい	・保護者様の緊急連絡先の変更など、緊急時に過去の情報で後手にならない対応と細かい部分までフォローを明示して共有していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・両店（西宮・仁川）で共有している	・再発防止策を風化するだけでなく情報共有できる仕組みを社内で構築し、課題解決を続けていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・多く機会を設けている。日々の活動内でもより触れて話し合い高めていきたい	・新規職員を含め、スピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・行えている。より現場に即した具体的な伝え方に向上させていきたい。	・新規職員を含め、スピード感を向上するようにe-learningを活用して知識と情報の伝達を向上していく	